

2017（平成 29）年11月1日

大学関係者 各位

大会運営委員会

第 39 回 大学職員「人間ネットワーク」のご案内

以下のとおり実施いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【テーマ】 「大学のまち・西宮」

報 告 : 「自治体からみた大学連携」

ゲストスピーカー : 西宮市産業文化局産業文化総括室 大学連携課長 岡崎州祐氏

【日時・会場】 2017（平成29）年11月18日（土） 13：30開始 （受付12:30より）

大手前大学 さくら夙川キャンパス

（阪急「夙川」、JR「さくら夙川」、阪神「香櫨園」から、徒歩7分）

【参加費】 研修会（会員：無料／一般：1,500 円）

情報交換会（会員・一般：4,000円）

※参加費は当日受付でお支払いください。

【宿 泊】 宿泊は各自で手配をお願いします。

※会場近辺にホテルはありません。会場から神戸市内（三宮）または大阪市内（梅田）まで30分程度ですので、範囲を拡げて、お早めに確保されるようお願いいたします。

【申込方法】 下記いずれかにてお申し込みください。

①「大学職員人間ネットワーク」で検索 ⇒ Topicsの開催のお知らせより

②右のURLのフォームより <https://goo.gl/eab57Y>

（申込期限：11月10日（金）17:00まで）

【共 催】 大手前大学

【後 援】 西宮市

《開催趣旨》

大学は、そこに在籍する学生のための教育・研究機関であることはもちろんですが、大学が地域・企業などと連携して、さまざまな事業が進められることもあります。また、複数の大学が連携して教育・研究・まちづくりを推進するなど、大学という地域の重要資源は、さまざまな面で社会からの期待を背負っています。大学で実践された教育・研究の成果が活用されることが多いため、その担い手である教員がキーマンになることが多いですが、職員はどのようにかかわることができるでしょうか。また、複数の大学の事務職員が連携して、どのような企画を実現することが可能でしょうか。

今回は、関西の「住みたいまち行政市区」ランキング1位で、「大学のまち」である西宮市の、大手前大学が会場です。西宮市産業文化局産業文化総括室大学連携課のご協力により、西宮市の大学政策についてご紹介いただくとともに、さまざまな大学間連携の可能性を探求してまいります。提案型プロジェクト体験のワークショップを通じて、大学の垣根を越え、職位を越えて議論し、大学間連携の取組を企画しましょう。大学に持ち帰って実現するのは、もちろん「あなた」です。大学職員「人間ネットワーク」は、ポジティブにがんばるみなさんを、とことん応援します！

《11月18日(土)》 研修会

◆受付・会員総会・プレ企画

- 12:00～ 受付（場所：CELLフォーラム入口）
12:10～12:40 会員総会 ※会員以外の傍聴可能です。
12:40～13:10 プレ企画【大手前大学「入学前教育」システム特別公開】
ネットワークシステムを活用した入学前学習の事例と、
授業出席状況の相関関係などについての考察を紹介

◆第1部 研修

- 13:30～13:45 開会
13:45～14:30 報告
14:45～16:05 ワークショップ
16:20～17:10 討議内容共有
17:10～17:20 総括
17:20～17:30 写真撮影、閉会

◆第2部 情報交換会

- 18:00～20:30 情報交換会 阪急「西宮北口」駅近辺（当日お知らせします。）

【大手前大学へのアクセス】

- 阪急「夙川」駅から徒歩約7分
- JR「さくら夙川」駅から徒歩約7分
- 阪神「香櫛園」駅から約7分



●お願い 次の点についてご理解とご協力をお願いいたします。

- 1 参加者間の交流促進のため、資料として参加者名簿を配付いたします（項目は、所属大学名・部署名・氏名・メールアドレスです）。予めご了承ください。
- 2 会員の方は身分証になりますので必ず会員証をご持参ください。

問い合わせ先 大学職員「人間ネットワーク」
副会長:村山孝道 t-murayama(a)po.kbu.ac.jp

《11月19日(日)》 オプショナルツアー (任意参加・要申込)

銘酒とスイーツのまち・西宮を散策します。

◆スケジュール◆

- 9:00 集合 阪神「西宮」駅 えびす口改札前 → 西宮神社 → 宮水発祥之碑
- 10:00 白鹿記念酒造博物館 (記念館/酒造館) 見学
- 12:00 昼食 「白鹿クラシックス」
- 13:00 白鷹祿水苑 (飲み足りない方)、
アンリ・シャルパティシエ (お土産ご購入の方)
- 14:30 阪神「西宮」駅にて解散

◆参加費◆

約3,000円 (飲料費別)

阪神「西宮」駅

集合場所です。コインロッカーも完備です。



西宮神社 (西宮えびす)

ご存知「えべっさん」。毎年1月10日の「福男選び」が有名です。



宮水

この水のおかげで、美味しい日本酒が作られます。
遠くに「日本盛」の看板が見えます。



白鷹祿水苑

蔵出し限定酒がショットでいただけます (立ち飲み200円)。
ただし11時amから。

白鹿記念酒造博物館

「記念館」と「酒造館」に分かれています。「おみやげ」付きです。



アンリ・シャルパティシエ

西宮で「阪急ブレーブス」、「銘酒」とともに重要なのがスイーツ。
お土産にどうぞ。





【大学職員「人間ネットワーク」の概要】

【設立趣旨】

我が国の私立大学においては、約半数が定員割れの状況に陥り、大学職員が激動の時代に対してどのように対処すべきかを、所属大学だけで解決していくには大変難しくなってきた。言いかえれば従来の“本学”意識から脱却して、各私立大学職員の相互理解を深めていくことが不可欠であると考え、私立大学職員同士が今まで以上に自由に、そして活発な意見交換ができる環境が必要であると1998年（平成10年）に有志私立大学職員により設立されたのが本会の始まりである。

私ども大学職員「人間ネットワーク」は、従来の情報提供型の研修会ではなく、参加者の国公立大、教職員の枠組みを超えて相互理解を深めることに重きをおき、参加者同士が深く突っ込んだ意見交換をするにより自己啓発を促し、各人が自在にコントロールできる資源の一つとして「人的ネットワーク」を提供することが目的である。

今現在それぞれの大学において直面する問題は多様化してきており、自組織のみで思考し解決していくという状況ではなくなってきた。日本の大学が、国公立大の枠組みだけでなく、大学間の垣根を越え真剣に議論し、共生する時代の到来であると考えた時、大学職員は大学職員の立場で“大学職員”による“大学職員のため”の人的情報ネットワークが必要であり、そのために大学職員「人間ネットワーク」の存在が重要な位置づけとなってくるであろう。

故に多くの大学職員の方々にお集まりいただき、共に英知を出し合いながら問題解決への手がかりとなればと考える。大学職員「人間ネットワーク」は、大学が健全に共生するための大学職員による活発な意見交換の場と成りうることを目指し、より多くの志を同じくする大学職員の方々にお集まりいただきたい。

(2015年10月)

【これまでの活動履歴】

	開催地	開催日	幹事校	主な討議テーマ	主な講師
第1回	愛知県	平成10年12月		21世紀に向けての私立大学職員ネットワークのあり方について	
第2回	東京都	平成11年6月	日本大学 理工学部	履修登録システムの事例報告	
第3回	京都府	平成11年12月	龍谷大学・ 京都外国語大学	FD活動についての現状報告	
第4回	福岡県	平成12年7月	西南学院大学	病める学生達の心身ケアについて	
第5回	神奈川県	平成12年12月	神奈川大学	「著作権」についての理解	水谷 俊之
第6回	兵庫県	平成13年6月	甲子園大学	「大学事務の情報化」	川東 正美
第7回	静岡県	平成13年12月	東海大学海洋学部	「学生支援」をテーマに多角的に検証	齋藤 聡 他
第8回	愛知県	平成14年6月	金城学院大学	今後の学籍のあり方とは	近藤 伊佐夫
第9回	東京都	平成14年12月	明星大学	入学前提教育の諸検討	海老原 直人
第10回	京都府	平成15年6月	佛教大学	これからの大学職員像とは	水谷 俊之
第11回	東京都	平成15年12月	大東文化大学	学生のキャリア形成について	
第12回	岡山県	平成16年6月	ノートルダム 清心女子大学	学生のキャリア形成について（続）	藤原 久美子
第13回	東京都	平成16年12月	桜美林大学	大学職員としての問題解決について	高村 麻実

第14回	熊本県	平成17年6月	熊本学園大学	個人情報保護法への対応について	(グループワークのみ)
第15回	大阪府	平成17年12月	大阪工業大学	高大連携の現状と課題	宮下明大 他
第16回	新潟県	平成18年6月	新潟国際情報大学	地域の中の大学	
第17回	福岡県	平成18年12月	九州産業大学	これからの大学職員像を考える	園田 博美
第18回	東京都	平成19年6月	大正大学	高等教育のデザインと大学人の役割	寺崎 昌男
第19回	広島県	平成19年12月	広島国際大学	これからの学生支援のあり方と大学職員の役割	坊岡 正之
第20回	静岡県	平成20年8月	10周年記念大会	大学自主防災論	長尾 年恭
第21回	京都府	平成20年12月	京都文教大学	私立大学「働き場」のメンタルヘルス	川畑 直人
第22回	福岡県	平成21年7月	西南学院大学	『「カネ」と「教育」について考える』	秦 敬治
第23回	東京都	平成21年11月	東京農業大学	『「カネ」と「教育」について考える PART 2』	高野 克己
第24回	岡山県	平成22年5月	就実大学	『大学職員力を考える』	(ディスカッション)
第25回	愛知県	平成22年10月	東海学園大学	『大学職員力を考えるPART 2』	寺崎 昌男
第26回	兵庫県	平成23年6月	大手前大学	『大学自主防災論』	浅野 英一
第27回	東京都	平成23年12月	玉川大学	『大学職員の育成について考える -国立大学の事例からの考察-』	樋口 浩朗他
第28回	福岡県	平成24年6月	九州国際大学	大学の使命 第1弾 『学生の質保証のためのカリキュラム』	山本 啓一
第29回	愛知県	平成24年12月	中部大学	大学の使命 第2弾 『大学職員道』-大学を変える、職員が返る-	中元 崇
第30回	大阪府	平成25年6月	追手門学院大学	大学の使命 第3弾 『学士課程答申以降の大学改革に果たす職員の役割』	川嶋 天津夫
第31回	東京都	平成25年12月	国士舘大学	大学の使命 第4弾 『おちこぼれ大学職員』・『ワールドカフェ』	下村 誠
第32回	福岡県	平成26年6月	九州大学(大橋キャンパス)	大学の使命 第5弾 『職員があらためて知ること・問うこと』	船戸 高樹
第33回	愛知県	平成26年12月	椋山女学園大学	大学の使命 第6弾 『わたしたち職員が“育つ”学びとは』	池田 輝政
第34回	京都府	平成27年6月	京都学園大学	大学の使命 第7弾 『障がい学生支援と障害者差別解消法を考える』	村田 淳
第35回	広島県	平成27年11月	広島工業大学	大学の使命第8弾 学生の主体的学びへの支援 学びを促進する学習支援とアカデミックアドバイジング	清水 栄子
第36回	東京都	平成28年7月	東京家政大学	大学を創る、未来を創る「大学史の原点と未来。不可視の未来を見据え、今何をすべきか」	寺崎 昌男
第37回	福岡県	平成28年11月	筑紫女学園大学	本物の職員力「SDの義務化、その背景とこれからの職員論」	篠田 道夫
第38回	愛知県	平成29年6月	名城大学	『大学職員のキャリア形成』	夏目 達也